

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸太田市立太田小学校

担当教諭名 佐藤 妙子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成24年1月24日(火) 9:30 ~ 13:00
対象学年と人数	第3学年 75名(2クラス)
派遣講師名と出身国	・マスクート・キヤスマイー・セイエド・エブラヒム(イラン) ・タスファイエ・ガライヤ(エチオピア) ・オレリー・ノエル(フランス)
活動の内容	・母国語のあいさつ・自己紹介 ・イラン, エチオピア, フランスの紹介(食べ物, 歌, スポーツ, 国旗, 歴史, 学校の生活, 有名な場所など) ・質問タイム ・ふれあいタイム(ゲーム) ・講師の方々とのふれあいランチタイム
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	前夜に降った雪の影響でお二人の到着が遅れ、触れ合う時間が短くなってしまったことが残念であった。 各国20分の時間を取ったが、20分では時間が足りなかった。しかし、3カ国全部体験するというのと、講師の先生が来校する時刻、帰る時刻を考えると20分程しか取れないのが現状であると思う。お二人に二カ国の話を聞くとするよりは、やはり一人でも多くの方に話を聞いてみたい、触れ合いたいと考えると各国20分が限度となってしまう。
生徒・保護者等参加者の感想	・いろいろな国の様子がわかってうれしかったです。普段食べているものや食べ物の値段など、日本とたくさん違うところがあってびっくりしました。どの国も夏休みが長く宿題が少なくいいなと思いましたが、勉強がよくできないと同じ学年をもう一度やらなくちゃいけないと聞いて、大変だと思いました。 ・エチオピアの先生は、ビデオを見せてくれました。町とそうでない所の生活の違いがわかりました。太鼓のような物を持ってきてくれました。いい音がしていました。 ・イランの先生は、パソコンを使って話をしてくれました。イランの文字は見たこともないような文字で、よく読めるなと思いました。 ・フランスは、きれいな場所がたくさんあって行きたくなりました。フランス料理やフランスパンをよく食べると聞いて「やっぱり」と思いました。 ・先生と一緒に給食を食べたことがうれしかったです。勉強の時間に質問できなかったことを聞くことができました。
先生の感想	事前に、来てくださる方の国について本やインターネットなどで調べていたこともあり、とても楽しみに待つことができました。今回は、フランス、エチオピア、イランの方を講師としてお招きしましたが、用意していただいた映像などで児童は異文化に触れることができ、触れ合うという目的は達成できたかと思います。一方、「自分が話すより映像を見た方がわかる。」と言われ、映像を流すだけで言葉による補足・説明が少なかったことが残念でした。視覚に訴えられる映像は魅力的ですが、人と人との触れ合いもさらにできればよかったと思います。 事前に実施計画をFAXで送ったり電話で知らせたりして打ち合わせをしてきましたが、講師の方も児童に伝えたいことがたくさんあり、用意していただいたものを児童に伝えきれなかったのも、さらに余裕を持った時間配分を考えていきたいと思っています。

